

三佐北地区(大分市) ～密集市街地の改善～

計画期間	平成19年度 ～ 28年度
面積	5.9 ha
全体事業費	1,001,000 千円
市人口	474,000人 (うち地区内 260人)

まちづくりの目標

安心、安全、快適な街づくり

主な事業内容と事業費・事業期間

区域の将来像

□古くから海運の要衝の地という歴史や伝統に育まれてきた、地域の人情や人々のつながりをこれからも大切にするとともに、より安全でより住みやすく、そして誇りをもって住みたくなるまち

整備の目標

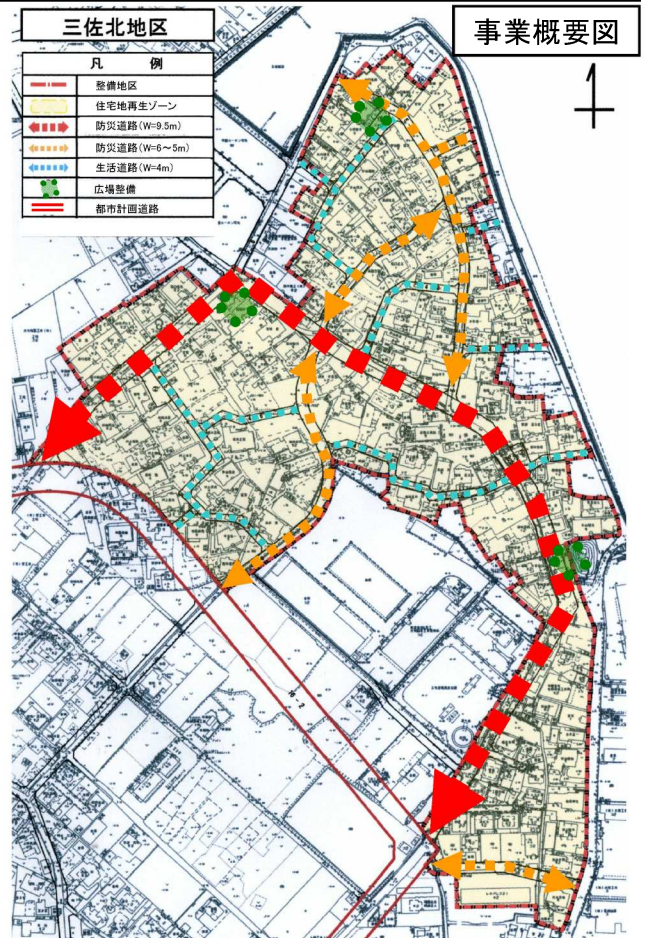
□地震や火災、救急時に対応できる道路整備を行い、安心して暮らせる基盤づくり

□住民の自主的なまちづくりの仕組みや体制づくりによるコミュニティの維持再生

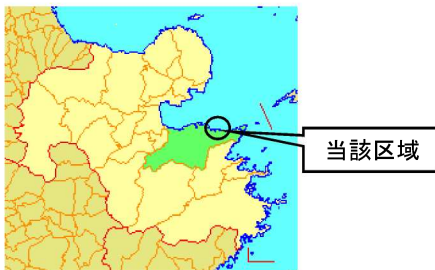
整備内容 : 道路、広場、貯水槽

事業期間 : 平成19年度 ～ 28年度

総事業費 : 約10億円



位置図



区域図



地区の歴史・風土

江戸時代、三佐は竹田岡藩の所領であり、藩主中川公が参勤交代の時に三佐の港から大阪に船出したところです。明治維新後急速にさびれ、農・漁業が中心とした村でしたが、臨海工業地帯としての指定を受け、造成による海の埋めたてに伴い、多数の企業が進出したことで、発展し、人口も増加しました。



地区の現況と課題

周辺の市街地整備が進む中、当地区は旧来からの漁業を中心とした集落でありましたが、臨海工業地帯造成に伴い準工業地域に指定され、都市基盤施設が未整備のまま無秩序に市街化が進みました。その上、老朽化した木造住宅が密集し、生活道路も整備されていないため、消防・救助活動、避難等の防災面や居住環境の悪化が心配されています。

(ふるさと三佐)三佐公民館より



地区の現況

事業取り組みと成果

事業の完了後には、地区内道路体系が整備され、道路網計画と整合する計画的土地利用の誘導(農・住・工混在状況の解消、新たな都市機能の導入等)と、沿道部を軸とした街並み景観の形成、住環境の改善(防災性の強化等)に向けた、老朽化住宅の建替え促進が予想されます。



工事予定箇所(参考)

地区の主なイベント

野坂神社の本祭

野坂神社の氏子により、三佐北、南地区において二日間にわたって行われる祭礼。江戸時代中期ごろより始まり、現在では宵宮では6基の人形を載いた山車、4基の太鼓山が年替わりに北もしくは南地区を練り進み、本祭りでは前途の山車に加え1基の神輿が、三佐北地区内の決められた道を午後から夜更けにかけてゆっくり練り進む雅なまつりです。主に地元で生まれ育った人々により運営されています。



(ふるさと三佐)三佐公民館より

地区のまちづくり協議会・地域の活動

三佐北地区環境整備事業推進協議会

各区自治会を母体として、三佐北地区(三佐三区、四区)における住環境整備の促進を目的に、街づくりの具体案の作成や行政との協議、地区住民の話し合いなど、行政と住民の間であって、よりよい街づくりに向けた活動を展開しています。



三佐北地区説明会

これからの取り組み

将来に向かって、地区の皆さんと一緒に、安心、安全、快適な街づくりを目標に、住みやすい快適な街に仕上げていきます。

事業のお問い合わせ先

大分市都市計画部
まちなみ整備課
三佐北・細地区住環境整備事務所
TEL 097-527-2146